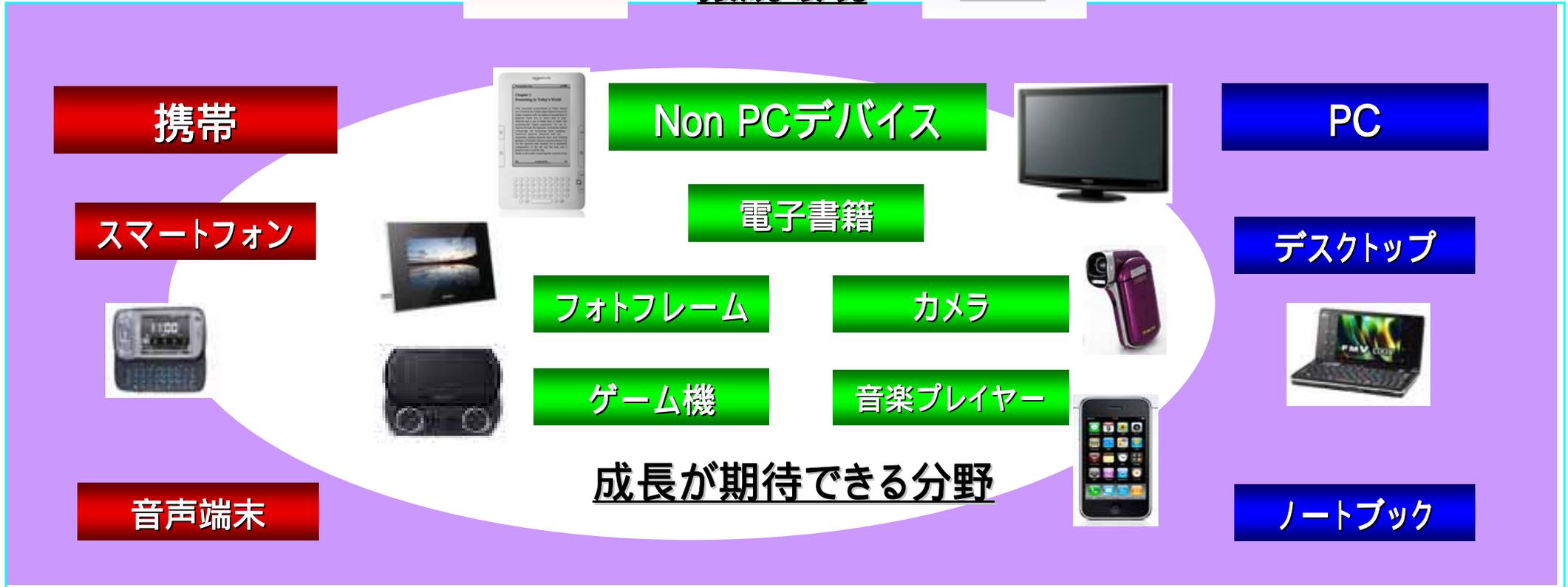




SIMロックの在り方に関する公開ヒアリング プレゼンテーション資料

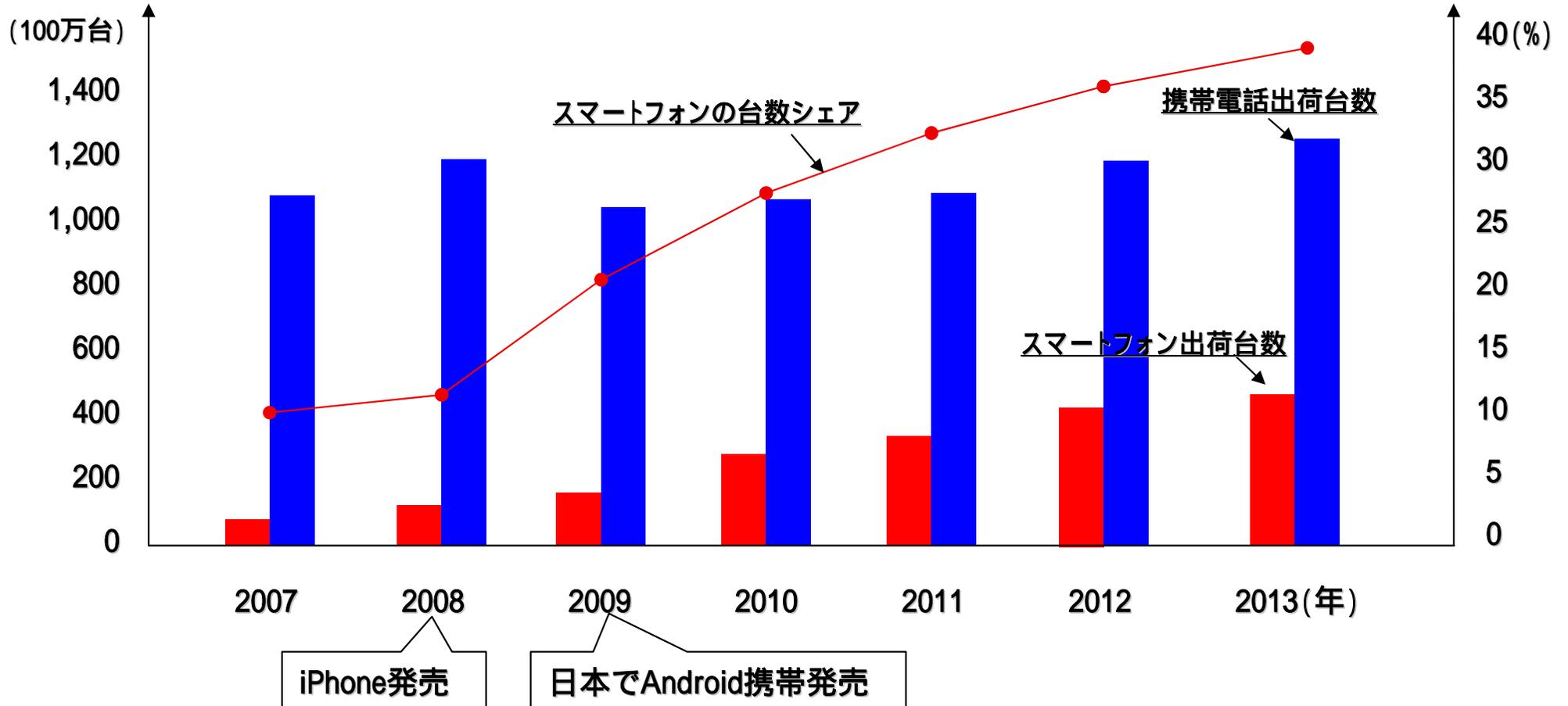
2010年4月2日
イー・モバイル株式会社

ネットサービスと連動したデバイスの登場により、新たな利用シーンが誕生



グローバル端末としてのスマートフォンは需要が急速に拡大

【携帯電話の出荷台数予測とスマートフォンの割合】



出所: Informa Telecom & Media(情報通信アウトック2010)

2008年までは実績値

日本の携帯端末の価格は高止まり

メーカーが販売

iPod Touch(8GB)

19,800円

Apple Store販売価格(2010年3月現在)

キャリアが販売

日本の携帯端末

約6万円前後

2009年発売携帯の販売価格から当社調べ

主な違いは3Gでの通信機能

価格差が生じる理由

コスト構造、出荷数、もしくは
価格設定に課題があるのでは？

通信サービスを利用者が
自由に選択可能

通信サービスとバンドルで販
売されるため、端末価格に
反映されにくい

利用者による携帯端末の選択肢は、広がるべき

キャリア端末市場

キャリア主導のマーケット

キャリアプラットフォーム

垂直統合型ビジネスモデル
(キャリア限定)

従来の端末市場

利用者が
選択可能

マーケットは並存

グローバル端末市場

新しいプレイヤーが参入

グローバルなプラットフォーム

水平分業モデル
(キャリアフリー)

新しい端末市場

日本企業の国際競争力に寄与するためには
まず国内市場を創造することが効果的

市場活性化

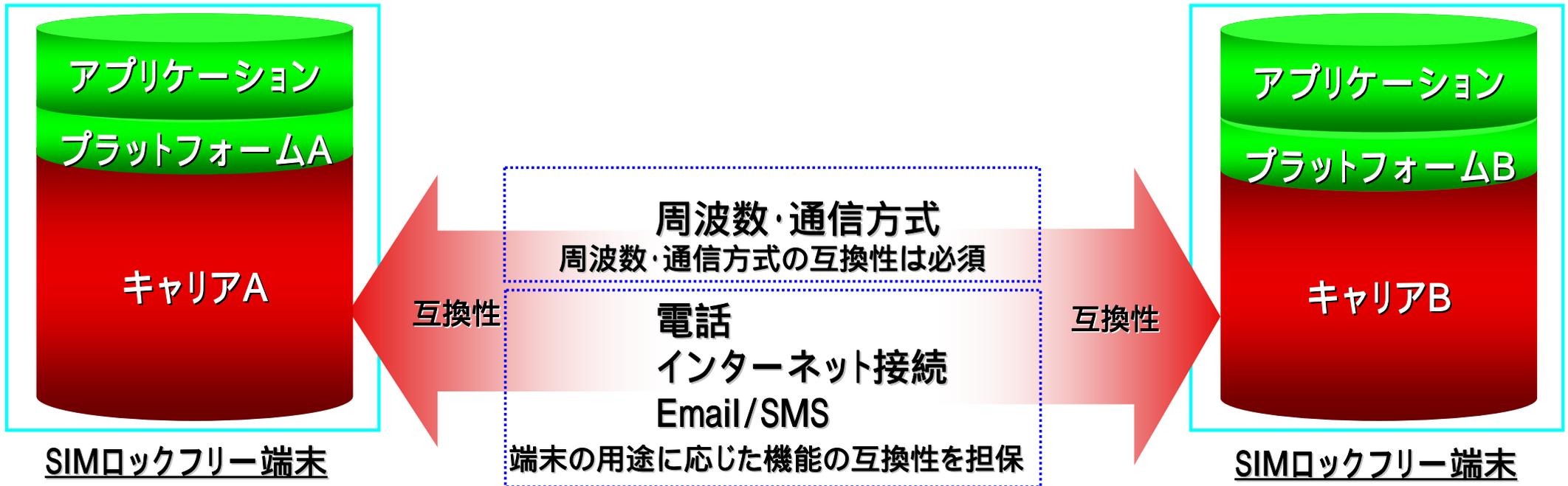
キャリア以外のプレイヤーでも、端末事業への参入が
容易になる環境整備が必要

利用者保護

どのキャリアの利用者であっても、SIMロックフリーの
携帯端末が利用可能な環境整備が必要

政策面での対応(1) 端末の流動性

利用者保護と市場活性化には端末の流動性を担保する事が必要



周波数・通信方式と最低限の基本機能を定めることで端末の流動性を確保

多様なプレイヤーの参入が容易になり

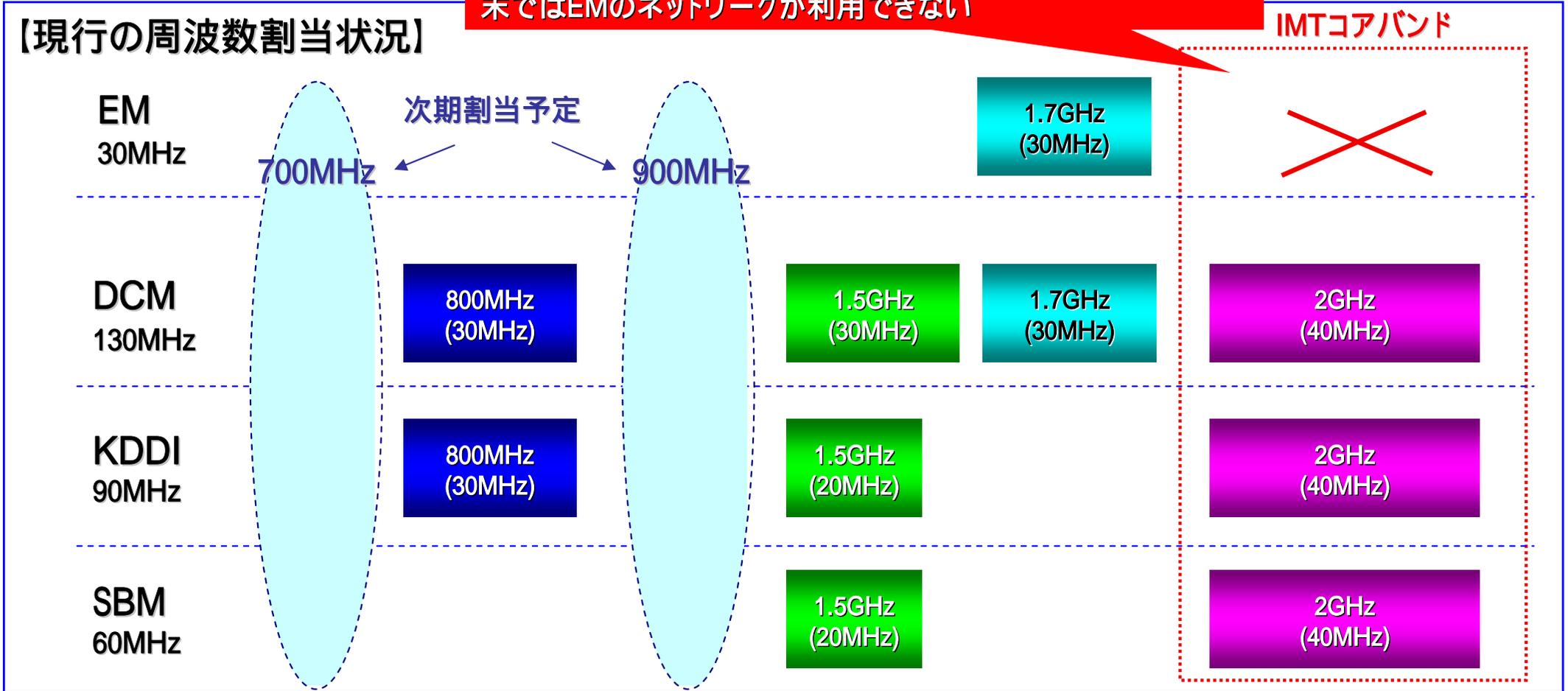
それぞれのプレイヤーがアプリケーションなど得意分野で創意工夫し、付加価値を向上

キャリアによる端末のIOTの効率化も必要

SIMロックフリー端末とキャリア端末との間で
「どうすれば公正な競争環境を作れるか」という観点も必要

キャリア間の公平な競争を確保するには、競争中立的な周波数割当が必要

EMのみIMTコアバンド(2GHz)の割当てがなく、グローバル端末ではEMのネットワークが利用できない



各キャリアの周波数帯域の公平な取扱いと今後の周波数割当へ配慮すべき

利用者に対して選択肢を提供できるSIMロックフリーは賛成

国内マーケットの創造による国際競争力向上に寄与

市場活性化と利用者保護には政策面の後押しも必要

競争中立的な周波数割当が必要

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。
